

1 研究主題について

☆研究主題：自ら考えよく学び 生き生きと活動する児童の育成

～サブテーマ：国語科の指導を通して～

2 研究主題及びサブテーマ設定の理由

<教育の今日的な課題より>

今年度（平成23年度）から新学習指導要領が完全実施となる。今回の改訂の基本的な考え方は次の3つである。

- 教育基本法改正等で明確になった教育の理念を踏まえ、「生きる力」を育成する。
- 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視する。
- 道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成する。

そして、今回の改訂による教育内容の主な改善事項としては、

- ・言語活動の充実
- ・理数教育の充実
- ・伝統や文化に関する教育の充実
- ・道徳教育の充実
- ・体験活動の充実
- ・外国語教育の充実

などが挙げられている。

特に、言語活動の充実に関わっては、国語をはじめ各教科等で記録、説明、批評、論述、討論などの学習を充実させることが必要とされている。

<学校教育目標より>

本校の学校教育目標は、

夢を切り拓く心豊かでたくましい子ども

であり、さらに次の3項目を設け、調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指している。

- 進んで学ぼうとする子ども
- 思いやりある子ども
- 心も体も健やかな子ども

上記の学校教育目標を具現化していくためには、子どもたちが主体的に活動する学習の場や学習の方法を設定すること、また、お互いを思いやる心を育てるコミュニケーション活動の場を設定することも必要であると考えます。

<地域及び児童の実態より>

本校は八ヶ岳南麓に位置し、周りを田畑や森林に囲まれ、自然環境という点では大変恵まれている。児童の多くは保育園の頃からの顔見知りである。保護者も相互に面識があり、地域全体で児童を教育していこうとする雰囲気があり、学校にも協力的である。

児童は、明るく素朴で、少人数であるためか異年齢間でも仲良く協力して活動する。また、どの教科・領域においても、課題を正面からとらえ、意欲的に解決を図ろうとする態度をもっている。ただし、昨年度行った児童実態調査の結果からは、

「しっかり話す」「正しく話す」

「自分の考えを伝える」

「聞いたことや読んだことをもとに自分の考えをもち、相手にわかるように話す」

といった『話すこと・聞くこと』に関わる力が弱いことがわかった。

<これまでの研究経過より>

本校では、一昨年度までの長い間「外国語活動・英語活動」に関わる研究を続けてきた。そこで、大切に考えてきたことは“コミュニケーション活動”である。一方向ではなく双方向の話し合いで自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりすることを目指してきた。

昨年度は、外国語活動・英語活動の研究で培われてきた“コミュニケーション活動”を外国語活動・英語活動以外の場面でも充実させようと研究を進めてきた。さらに、本校の児童に足りない力（課題）が何なのかを探るべく「児童実態調査」を実施した。その結果、児童の実態の項でも述べたように『話すこと・聞くこと』に関わる力が弱いことがわかったので、各学年の実態に応じて『話すこと・聞くこと』の力を伸ばすような手立てを考え、教科・領域を限定せずに実践を行った。

以上のような課題・実態・経過から

◇研究主題：自ら考えよく学び 生き生きと活動する児童の育成

◆サブテーマ：国語科の指導を通して

を設定した。



3 研究内容について

◎国語科の指導の研究

子どもたちが「自分の思いを相手にわかりやすく話す」力を育成するために、国語科の指導の工夫を研究していく。

◎学習意欲向上に向けて

子どもたちが「わかる楽しさ」を味わい、自ら進んで学習することができるようになるために、基礎基本の習得の仕方や家庭学習のあり方などを研究していく。

イメージ?!としては・・・

自ら考え よく学び 生き生きと活動する児童

自分が得た知識や技能をもとに
自分の思いを相手にわかりやすく話す

各教科・領域

国語科

学習意欲向上

○様々な知識・技能を育成する場

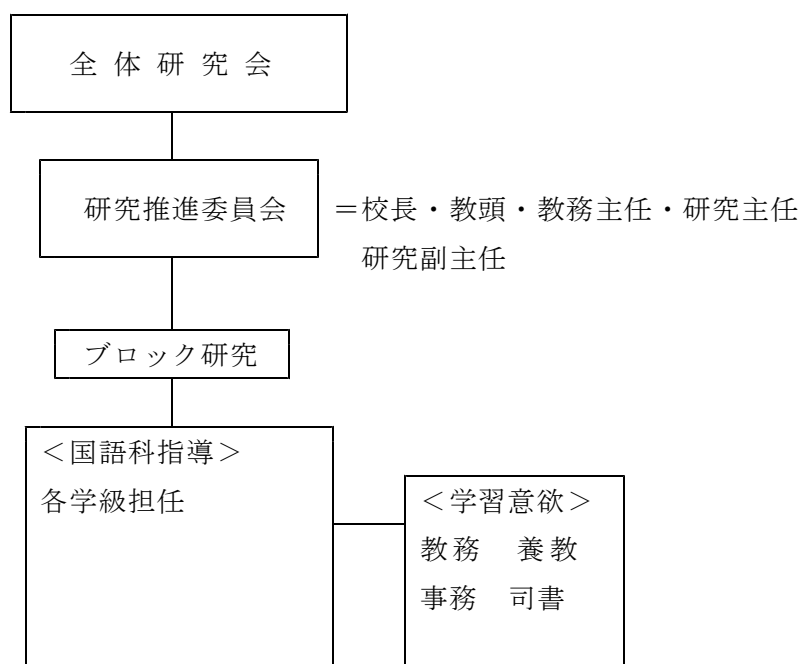
○考える力（自ら考え・判断し・表現する力）を育成する場

○基礎・基本の知識・技能を育成し、進んで学習する意欲を育成する場

4 研究方法について

- 全教師の共通理解の上に立って授業実践を行い，反省・評価していく。
- 全体会・ブロック研の2つの組織で校内研究を行うことを原則とする。
(ブロック研は，研究組織参照。)
- ブロック研は，ブロック長ほか研究推進委員が中心となり研究を進める。
- ブロック研は年間行事予定に定められている校内研究日を原則とするが各ブロック長が中心となり必要に応じて随時開くものとする。
- 授業研究を中心に，指導主事等の指導を仰ぎ研究を深めていく。
- 研究推進委員会は，校長・教頭・教務主任・研究主任・ブロック長で構成し，研究推進に関わる連絡調整等を行う。
- 研究推進委員会は，必要に応じて開く。
- 校内研に関わる諸会議は，原則として勤務時間内に終了できるように努める。
- 他校の公開研究会の参加にあたっては，積極的に行う（学校長の許可を得ること）。また全体会において，環流報告をする。
- 年度末に研究紀要を作成し研究の成果等を残す。

5 研究組織について (案)



6 研究計画

< 1 学期 >

- ・研究の全体計画（研究主題・研究内容・研究計画等）の作成
- ・国語科に関わる指導法の研究
- ・学習意欲向上に向けた指導法の研究
- ・児童の実態把握

<夏期休業>

- ・ 外国語活動に関わる研修
- ・ 特別支援に関わる研修
- ・ 教育課程に関わる研修

<2学期>

- ・ 授業の実践（一人一実践）
- ・ 児童の実態把握
- ・ 各種公開研究会への参加と環流報告

<冬季休業>

- ・ 研究紀要作成に向けての原稿作り

<3学期>

- ・ 研究紀要の作成
- ・ 研究のまとめと次年度の研究の方向性の検討

7 研究経過

月 日	研究形態	研究の主な内容
4月11日	全体研究会	・ 昨年度までの研究経過の概要 ・ 本年度の研究の方向性
4月18日	全体研究会	・ 研究主題 ・ 主題設定の理由 ・ 研究内容 ・ 研究方法 ・ 研究組織 ・ 研究計画
5月 9日	全体研究会	・ 研究組織の再検討 ・ 豊かな言語環境づくりプログラムについて
6月 6日	全体研究会	・ 「話すこと」「聞くこと」に関わる具体的な取り組みについて
7月21日	全体研究会	・ 「話すこと」「聞くこと」に関わる具体的な取り組みについて（『話し方・聞き方あいうえお』の検討）
8月19日	全体研究会 （講師招請）	・ 特別支援教育についての研修 「特別な教育的ニーズを持つ子どもの 理解と支援について」 （講師：保坂 俊行 先生）
8月24日	全体研究会	・ 新教育課程研修会環流報告 ・ 「話すこと」「聞くこと」に関わる具体的な取り組みについて（話す力を育てる指導法の紹介）
10月 3日	全体研究会	・ 「話すこと」「聞くこと」に関わる具体的な取り組みについて（話す力を育てる指導法の紹介） ・ 一人一実践の計画

10月24日	全体研究会	・第3学年の研究授業指導案の検討
11月28日	研究授業 (指導主事招請)	・第3学年 国語科 題材名：話し合って決めよう 「わたしたちの学校行事」 授業者：内藤 茂樹
	全体研究会 (指導主事招請)	・研究授業の反省 (指導主事：北杜市指導主事 清水 徳生 先生)
12月21日	全体研究会	・研究紀要の原稿作成にむけて ・本校児童の学力の課題点について
1月17日	全体研究会	・研究紀要の作成にむけて ・外国語活動・英語活動の指導案の見直し ・一人一実践の経過報告
2月29日	全体研究会	・研究の反省とまとめ ・来年度の研究の方向性

※上記以外に

学習意欲向上にむけての取り組みについてブロックで検討を行った。

